

毎月10日、20日にまちスポ飛騨高山で開催している「介護しているあなたのためのほっとする談話室」。今回は「おでかけ談話室」と題して高山市岡本町にある駿河屋アスモ店に出張開催しました。普段まちスポ飛騨高山では出会えない人たちに活動を知っていただく機会になりました。

どんなにちょっとした悩み事でも、その悩みを持ち続けて生活を送ることは心身共に疲れてしまいます。友達や家族、近い人だからこそ話づらいこともあります。そんな時には、このほっとする談話室にお立ち寄りください。来月31日も開催予定です。皆様のお越しをお待ちしています。



開催日時: 7月31日(月) 10:00~15:00
場所: 駿河屋アスモ店2階 fresh kitchen 来場者: 3名

まちスポとやま **社会に学ぶ14歳の挑戦**

総曲輪レガートスクエア協議会官民連携事業 **富山市立南部中学校受け入れ**

富山県独自の中学生の職業体験「14歳の挑戦」。今年度は2校の受け入れを予定しています。7月は、南部中の2年生4名が総曲輪レガートスクエアとその周辺施設で活動体験をしました。「将来必要になるコミュカを高めたい」「大きな声でまちスポを盛り上げたい」と目標を掲げて参加した生徒たち。富山市医師会看護専門学校で患者さんに見立てた人形を運んだり、青池学園でクッキーを作ったり、グンゼスポーツで受付をしたりと毎日違う活動を体験しました。まちなかサロンで「笑いヨガ」に参加した際には、参加者の方と一体となって笑うことの楽しさや効果を実感していました。周辺の花屋、設計事務所、映画館にも協力

いただき、各施設の方や利用者に温かく迎えられながら、仕事の大切さを学んだようでした。



期間: 7月10日(月)~14日(金)
参加者: 富山市立南部中学校2年生4名
活動施設: 富山市医師会看護専門学校、グンゼスポーツ 青池学園、まちスポとやま、押田建築設計事務所 パケ・ドゥ(花屋)、JMAX THEATER とやま

窓 コーナー

- 毎月アイスクリームを作ります! ケルシー
- 短い夏、満喫するぞー! 本間
- 暑すぎて毎日そうめん生活! 野首

7月のホームページ更新

<http://machispo.org>

- 開催報告)第19回スキマ研究会 <http://machispo.org/sukima19report/>
- 企業と取り組む出張日本語教室&防災教育 <http://machispo.org/companywithbousai/>
- 多文化共生交流会~アイルランドってどんな国? <http://machispo.org/ireland/>
- 2023年8月まちスポ飛騨高山 イベント情報 <http://machispo.org/202308event/>
- 移住者交流会 in 飛騨高山 <http://machispo.org/ijyukouryu/>
- 会報113号 <http://machispo.org/kaihou113/>
- 多文化(たぶんか)共生(きょうせい)交流会(こうりゅうかい) <http://machispo.org/multicultural-symbiosis/>
- フレスポ飛騨高山周年祭2023 <http://machispo.org/frespo-anniversary2023/>
- 視察・研修代改定のお知らせ <http://machispo.org/fee-revision/>

さるぼぼコイン クレジットでの 賛助会員入会が 可能になりました!

詳しくはこちらをご覧ください! <http://machispo.org/donation>

活動を応援して下さる方を 募集しています。

- ♡ 個人年会費 1口 ¥3,000
- ♡ 法人年会費 1口 ¥5,000

納入先

郵便振替 00840-9-183216 特定非営利活動法人まちづくりスポット
飛騨信用組合 松泰寺支店(普)0793442 特定非営利活動法人まちづくりスポット
高山信用金庫 駅西支店(普)0166788 特定非営利活動法人まちづくりスポット

まちスポとやま **とやまし元気づくりプロジェクト 2023**

ブラとやま 5年目がスタート!

ブラとやま、5年目が始まりました。とやまし元気づくりプロジェクトの一環で始まった本企画は、富山市の歴史や地形・地質を学びながらまちを散策し、世代間を越えてお互いのもつ情報や知識を共有し合う、人気のまち歩き企画です。

今年は「高山本線と神通川」をテーマに高山本線沿線でのまち歩きを展開します。第1回は富山駅周辺エリアを中心に、旧神通川跡地と富山市の都市計画事業との関連を発見しながら観光名所「富岩運河環水公園」を散策しました。「富山駅での1番最初の思い出は?」という2人1組でのコミュニケーションをきっかけにまち歩きがスタート。中学生から90代のシニアまで多くの世代が歩きながら交流を楽しみました。



今年度のテーマは「高山本線と神通川」

本家プラタモリにも出演した富山大学の安江先生や立山黒部ジオパークのガイドの皆さんと歩く人気のプログラム

日時: 2023年7月15日(土) 9:00~11:00
場所: 富山駅周辺 参加者: 26名
主催: 富山市福祉政策課 認定NPO法人まちづくりスポット まちスポとやま



とやまし元気づくりプロジェクト 2023 **ブラとやま** 全5回開催予定

- 第1回 富山駅周辺コース (開催終了)
 - 第2回 西富山コース (8/19)
 - 第3回 速星・鵜坂コース (9/23)
 - 第4回 富山空港周辺コース (10/7)
 - 第5回 八尾町周辺コース (11/18)
- 参加申込は ▶ こちらのフォームから

第1回ウェルビーイング研修

富山市における市民の元気と健康づくりのコンシェルジュを育成するため、今年度第一回目の「ウェルビーイング研修」を開催しました。元気プログラムを実践する人や関心のある方が参加。石川雄一先生(日本ヘルスサイエンスセンター)をお迎えし、グループワークをしながら話し合いました。参加者同士が同じテーマのもとに意見を出し合う中で「ウェルビーイング」とは何かを考えていました。今年度は計3回開催予定です。



日時: 2023年7月18日(火) 14:00~16:00
場所: 富山市まちなか総合ケアセンター・地域連携室
参加者: 18名

飛び出せ★元気市民
富山



一般社団法人
立山黒部ジオパーク協会
理事 ジオガイド人材育成部会長

しむら ゆきみつ
志村 幸光さん

「見えるもの」から
「見えないもの」につながる
面白さを伝えたい

とやまし元気プログラムの一環として開催しているまち歩きイベント「ブラとやま」で、ガイドを務める志村さん。立山黒部ジオパーク協会の一員として事業の計画、企画の業務をこなしながら、ガイドとしても活躍されています。協会では、お客さんからの依頼を受けたガイドの他に、協会員が提案する「ジオパーク散歩」や小学校高学年を対象としたふるさと学習などを行っています。

ガイドを始めたきっかけ

ガイドを始めて約10年となる志村さんですが、ガイドを始める前は自然解説員として活動されていました。ジオパーク協会設立時に要請があり、そこからガイドの仕事を始められたということです。自然と、人々の文化や歴史が結びつくことに面白さを見出した志村さんは、その面白さを伝えるために日々ガイドをしています。

ガイドで面白さを伝えるために

ジオパークのガイドだけでなく、まち歩きイベント「ブラとやま」でも案内役を務める志村さんですが、実際のガイドでは「目に見えることから説明する」ことを大切にしています。実際に見えないものから説明するのではなく、その場で見えるものから、見ることができない昔の人々の営みや歴史の話につなげていくことによって、お客さんに面白く感じてもらえるようになります。さらに、ガイドを行うことになったコースには下見として最低2度は足を運び、よりわかりやすい解説のために努力しています。

「ブラとやま」ならではの工夫

今年度の「ブラとやま」は7月からスタートし、11月まで月1回のペースで実施されます。開始初年度から案内役を務めている志村さんは、ブラとやまと普段のガイドでは少し意識を変えて案内をしているといいます。「ブラとやまの特徴は、参加者の方のコミュニケーションや発言を大切にしていること。その特徴に合わせて、普段のガイドより参加者の方の発言を引き出せるような立ち回りを意識していますね。腕の見せ所です」。そんな志村さんですが、今年度のブラとやまについても「入念に開催前の下見をした上で、神通川流域の見どころを発掘して、それをみんなで確かめて楽しみたい」と意気込みを話してくれました。

今後に向けて

志村さんの今後の目標は協会での活動を通して「ジオパークを広く知ってもらえるようにすること」だそうです。「ジオパークを広めていきたい。ジオパークという言葉はまだ馴染みのない言葉だけど、馴染みのある言葉にしていきたい」と力強く語ってくれました。

(まちスポとやま 真田 充)



7月15日に行われた第1回ブラとやま「富山駅周辺コース」でガイドを務める志村さん（詳細は本会報内の記事で）



まちスポ飛騨高山

アイルランド文化交流会
(ワールドバー)



ワーキングホリデービザを使い来日しているアイルランド出身のルークさんを講師に招き、アイルランド文化交流会を開催しました。アイルランドの気候や文化など母国と日本での生活の違いなどを伝えてくださいました。年間を通して気温の低いアイルランドでの農業や、暮らしの環境など参加者から質問がありましたが、難しい言い回しや言葉では伝わらない時もあり、自然と「やさしい日本語※」で話し合う時間となりました。

多文化共生というお互いを尊重し合う考え方で日本に暮らす外国人の方が住みやすい環境を保てるように、今後も様々な文化をテーマに開催していきたいと思います。

※「やさしい日本語」とは、普段使われている言葉を外国人にも分かるように配慮した簡単な日本語のことです。



日時：2023年7月30日(日) 10:00～11:30
会場：まちスポ飛騨高山
参加者：17名(内：子ども7名、ベトナム人2名)



まちスポ飛騨高山

女性のつながりサポート事業 -Report-

ゴミについて考える日

参加者や飛騨ゼロ・ウェイストプロジェクトスタッフの家庭で不要になった子ども服や絵本、雑貨などを持ち寄って、誰でも参加できる「ご自由にどうぞ」を開催しました。参加者の方からは、「子どもはすぐに大きくなって使えなくなるものが多い。こうして誰かに使ってもらえて嬉しい。」「まだまだ使えるものを無料でいただけるなんてありがたい。」「こんな活用方法があるなんて知らなかった。これからも続けてほしい。」などの感想をいただきました。

小さな取り組みですが、ゴミとして捨てる前に立ち止まって必要としている人はいないかな? と考えたり、物を大切に使うきっかけの場になっています。

- ・ゴミについて考える日「ご自由にどうぞ」
開催日：2023年7月6日(木)
- ・ゴミについて考える日「フードドライブ」
開催日：2023年7月12日(木)
時間：各10:00～12:00
場所：まちスポ飛騨高山
参加者：8名



イングリッシュスポット

元ALTと英語が得意なスタッフがお迎えする交流イベント。英語でお困りのことを気軽に相談したり、英語で楽しくおしゃべりしたりできます。今回は小学3年生の子が夏休みの課題で日本と世界のトイレについて調べていて、海外の方に英語で質問ができるように翻訳してほしいとお母さんと一緒に参加してくれました。ネイティブの先生の発音を聞きながら繰り返し一緒に声を出し練習しました。その他にも

「孫が英語の文法が苦手なで悩んでいる。私でも力になればらと思い参加しました。」という方もいらっしゃり、いろんな話を交えて楽しく有意義な時間となりました。



開催日：2023年7月23日(日) 10:00～12:00
場所：まちスポ飛騨高山 参加者：4名

女性のつながりサポートします!

「ゴミについて考える日」と「イングリッシュスポット」は、岐阜県女性のつながりサポート事業も同時開催しており、女性特有の悩みや相談も伺っています。この時間の常駐スタッフは

すべて女性ですので、ひとりで抱えている思いなど、気軽にお話しに来てください。参加費は無料で、予約も必要ありません。キッズスペースもありますのでお子様連れや、学生さんも大歓迎です。